

・復活後第三主日

泉のほとり

今日の詩編 第二十三編

主は羊飼ひ、

わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを青草の原に休ませ

憩いの水のほとりに俤い

魂を生き返らせてくださる。



体のよみがえりを信じる

イースターは主イエスが復活された日です。でも、死んだ人が甦るといふのは、どういうことなのでしょう。

お甦りになられた主イエスは、度々弟子たちに現れました。その弟子たちが集まって、「本当に主は復活した」と話していたときのことです。主イエスは真ん中に立って、「あなたがたに平和があるように」と言われました。これは挨拶の言葉です。主イエスはいつものように弟子たちのところに会いに来られたのです。

ところが、主イエスを見た弟子たちは恐れおののいてしまいます。今まで「主イエスは復活した」と話していたのにも関わらず。それは、主イエスのことを亡霊だと思ったからです。

日本では人が亡くなると、火葬にします。すると、体は無くなり、骨だけが残ります。骨も時間が経つと無くなるので、人は死ぬと体は無くなるけれど、霊だけは残ると考えておられる方がいるかもしれません。

でも主イエスは、それは違うと言われます。そして、手と足をお見せになりました。「わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触つてよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおり、わたしにはそれがある。」

主イエスの手足を見て、弟子たちは喜びましたが、それでもまだ信じられません。そこで、主イエスは魚を食べられたのです。亡霊が魚を食べる

ことはできません。主イエスは、弟子たちが信じることはできないから、一生懸命手と足を見せて、魚を食べて、復活するといふのは亡霊になることではなくて、体を持って甦ることだと見せてくださったのです。

でも、どうしてそんなに一生懸命、主イエスは手足をお見せになって、魚を食べられたのでしょうか。

以前、こんな話を聞きました。ある教会で教職員が病気で入院していました。病気が悪くなつていったとき、その人が牧師に質問したそうです。「体のよみがえりとはどういうことですか。」その牧師は、その人の手をとって、「この手が、このあなたの体が甦ることです」と言うと、その人は「わかりました」と答えたそうです。

わたしは、この話を聞いたとき、とても驚きました。主イエスが体をもって甦られたことも、わたしの体が甦ることも知っていました。けれど、今のわたしとは全く関係のない全く新しい体で、今、握手をしたり、呼吸をしたり、汗をかいたりするこの体が甦るとは思っていなかったからです。

でも、主イエスは十字架におかかりになる前と同じ体でお甦りになりました。まったく新しいけれど、同じ体です。そして、わたしたちも体をもって甦るために、主イエスを信じることで、魚を食べるために、主は一生懸命手足をお見せになって、魚を食べてくださいました。

嘆き

この福音のために、わたしは使者、使徒、異邦人の教師に任命されました。

テモテへの手紙2 一章一一節

ああ、霊の怠惰よ、
安逸が

寛容の粉飾で覆われています。

そしてキリスト者でない者を

教えるよりも

キリスト者でない者から

より好んで学ぶ。

その方がずっと簡単です。

ああ、口のきけない使者よ、

座ったまま動かない使徒、

彼らはあなたから

何も学んでいません。

わたしたちを憐れんでください。

あなたの僕たち、仕え女たちを、

生かし、動かしてください。

我々の思いから純粋な教理への信仰を追い出してしまふことにまさって、サタンが精魂を傾けることはない。・・・純粋な教理への信仰を破壊するために、敬虔な教師を疑いへと引き寄せよ。

カルヴァン

R・ポーレン著 「祈る」より

楠原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○吉村牧師は、群馬県の安中聖書教会の研修会と主日礼拝で奉仕するために昨日から出張しています。そのため第一礼拝は菊池副牧師、第二礼拝は黄副牧師が説教を担当します。

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスがあります。園舎二階のリズム室では「ぶどうの会」が開かれて、礼拝で受けた恵みの分かち合いをします。どうぞご参加下さい。

○第二礼拝後、ホールで讚美と報告の会をします。お昼は愛餐会です。今日のメニューは、ハッシュドビーフ、フレッシュサラダ、フルーツです。会費四百円でどなたでも参加できます。

○次回の洗礼式と転入会式は七月二十八日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は、入信記を書いて、次週一九日まで牧師宛ご提出ください。長く求道生活をしている方、また他教会の方、一歩を踏み出す決心をしましょう。なお最初の受洗決心者講座を二四日(金)午後七時から行います。

○吉村牧師は、明日から一六日(木)まで、武蔵小金井の聖マリア修道院で行われる説教セミナーで奉仕するため出張します。

○紫園香音楽伝道師は本日は板橋教会でコイノニアチャリティコンサート、一七日金曜日は恵シャレー軽井沢でコンサートの奉仕をします。お祈りください。

第一礼拝 讃21 57番

ガリツヤの かぜかおる おかで - ひと
 び とに はな された めぐみの みこと
 ばを、 わたしにも きかせて ください。

(♩=84)

1
 ガリラヤの^{ガリ}風^{ツヤ}かおる^{かぜ}丘^{かみ}で
 ひとびとに話^{かた}された
 恵^{あま}みのみことばを、
 わたしにも聞^きかせてください。

2
 あらしの^{あらし}目^め波^{なみ}たける^{たけ}湖^{うみ}で
 弟^{あな}子^こたち^らにさ^さと^とされ^られた
 ち^ちから^らのみ^みことばを、
 わたしにも聞^きかせてください。

3
 ゴルゴタの^{ゴル}十^{じゅう}字^じ架^かの上^{のうへ}で
 つみびとを招^{まね}かれた
 す^すく^くい^いの^のみ^みこ^こと^とば^ばを、
 わたしにも聞^きかせてください。

4
 夕^{ゆふ}ぐれ^{ぐれ}のエ^エマ^マオ^オへ^への^の道^{みち}で
 弟^{あな}子^こたち^らに告^つげ^げら^られた
 い^いの^のち^ちの^のみ^みこ^こと^とば^ばを、
 わたしにも聞^きかせてください。

ア-メン。

聖書の会

5月15日(水)

● 朝の聖書の会(10時)

「罪人を招くために」

マルコ2章13節〜17節

菊池美穂子 副牧師

● 聖書の夕べ(19時)

「二回日のしるし」

ヨハネ4章43〜54節

黄允湜 副牧師

次週礼拝

● 第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 22番 讃21 57番

説教「キリストの友となつて」

聖書ヨハネ15章12〜17節

説教者 古村和雄 牧師

● 第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 148番 243番

詩篇 23篇

説教「主が目を留める人」

聖書マルコ1章16〜20節

説教者 菊池美穂子 副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 22番

讃21 57番

説教 「あなたが復活するために」

聖書 ヨハネ6章34節～40節(新約 P175)

司式 山下純一 兄 聖餐司式 黄允湜 副牧師

説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「愛するイエス、我らここにいます」
J.G.ガッラー

○讃美歌 22番

1. めさめよ、わがたま あさ日^あにともない
あしたのほめうた みまえにささげよ
2. むなしくすごしし ときをばつぐのい
ちからのかぎりに みわざをつとめよ
3. うえよりたまわる たからをもちいて
おわりのさばきに かしこみそなえよ
4. かくるものをも 主^まは知りたまえば
ことばとおもいを ひたすらきよめよ
5. めさめよ、わがたま この日^ひもひねもす
みくにをのぞみて いそしみはげめや

アーメン

○ピアノによる讃美
「前奏曲 No.13」 F.ショパン

○讃21 57番

1. ガリラヤの嵐^{あらし}かおる丘^{かみ}でひとびとに話^{かた}された
恵^{あま}みのみことばを わたしにも聞^きかせてください
2. あらしの白^{しろ}波^{なみ}たける湖^{うみ}で弟子^{でし}たちにさとされた
ちからのみことばを わたしにも聞^きかせてください
3. ゴルゴダの十字架^{ごるごだのじゅうじあ}の上^{うへ}で つみびとを招^{まね}かれた
すくいのみことばを わたしにも聞^きかせてください
4. 夕^{ゆふ}ぐれのエマオへの道^{みち}で 弟子^{でし}たちに告^つげられた
いのちのみことばを わたしにも聞^きかせてください

アーメン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 147番 239番

詩篇 第23編(旧約 P854)

説教 「裁きの日には」

聖書 マタイ11章20節～24節(新約 P20)

司式 山下純一 兄

説教者・聖餐司式 黄允湜 副牧師

前奏曲「キリストは死の縄目につき」 G.バーム

○讃美歌 147番

○ピアノによる讃美
「前奏曲 No.13」 F.ショパン

○聖歌隊による讃美
「主は生きておられる」 編 藤本敬三
主イエスと呼びまつる 御神のひとり子
空しい墓こそが 救いのみ業証しする
たしかに生きておられる
恐れは消え去り
御力 与えたもう よみがえりの主 あおぐ時
いつの日か 河を渡り
最後の戦いに勝利を得させたもう
今も主 生きておられるから
明日に目を向け のぞみに満たされ
我らも生きる 主と共に
ハレルヤ ハレルヤ

○讃美歌 239番

聖餐曲「メディテーション」 J.ヨハン

後奏曲「コントラスト」 E.ガッラー

聖餐曲「感謝の歌」 W.バート

後奏曲「コントラスト」 E.ガッラー

*礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。